

## ご自宅・勤務先での iStudy Viewer のインストールとコメント再現までの流れ

<作業を行う前に>

- 本文書は、2016年7月現在のバージョンである、3.3.3 をベースとした内容です。バージョンアップが発生した場合や、アーカイブページより過去バージョンをダウンロードされた場合、ダウンロードのファイル名や、解説中のイメージが異なる場合がございますが、基本的に設定すべき箇所や手順は一緒となります。
- 既存の iStudy Viewer のバージョンをアップグレードする場合や現在のインストール状態に問題がある場合を想定し、現在 PC にインストール済みの iStudy Viewer をアンインストールした後に新規インストールすることを前提として作成しています。
- Oracle 研修に対応した iStudy Viewer は「 Learning Edition 」です。
- 既存の iStudy Viewer のバージョンが最新ではない場合、起動時次のようなダイアログが出現します。



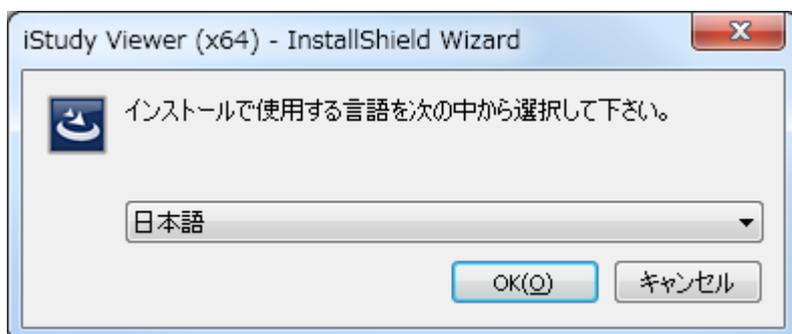
- PC に初めて iStudy Viewer をインストールする場合、アンインストールは不要です。インストールからお願いいたします。

### アンインストール方法：

[コントロールパネル]-[プログラムの追加と削除]より iStudy Viewer を選択して「削除」をクリックします。

### インストール方法：

- (1) ダウンロードしたファイルがzip形式の場合は解凍してください。Learning Edition である事をご確認ください。
- (2) 拡張子が exe もしくは msi となっているファイルをダブルクリックするとインストールが開始されます。
- (3) 言語をお選びいただけます。



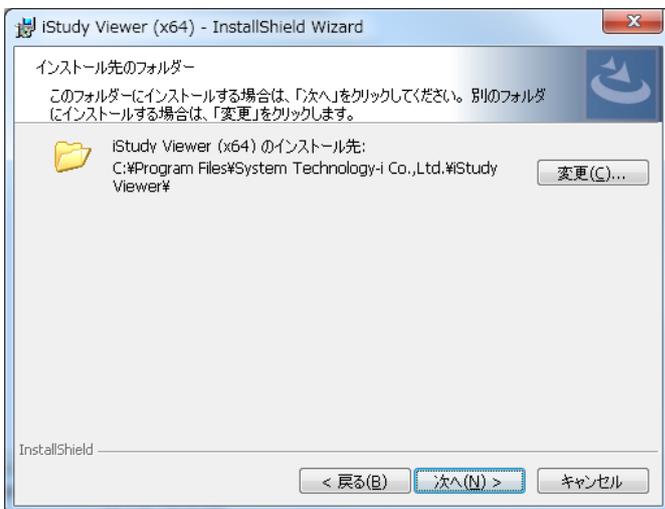
(4) [次へ]をクリックします。



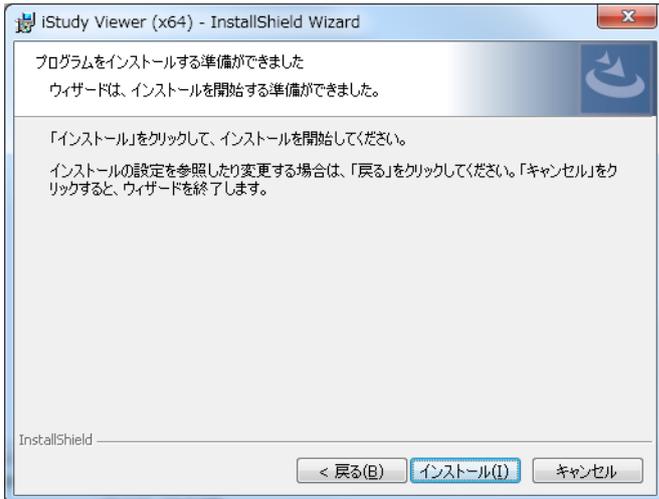
(5) 使用許諾契約が表示されます。お読みになりご同意いただける場合、同意をチェックの上、[次へ]をクリックします。



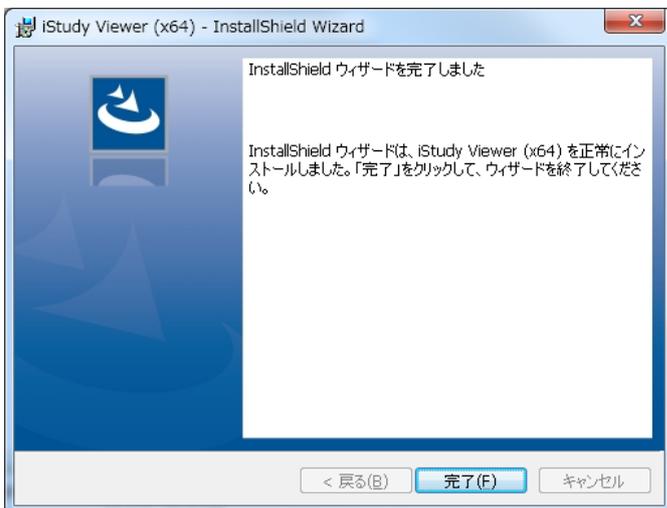
(6) インストール先の決定です。フォルダに変更がある場合は、[変更]から選択していただき、[次へ]をクリックします。



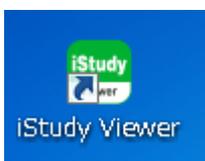
- (7) [インストール]をクリックすると、インストールが開始されます。



- (8) インストール完了です。[完了]をクリックしてインストーラーを終了してください。

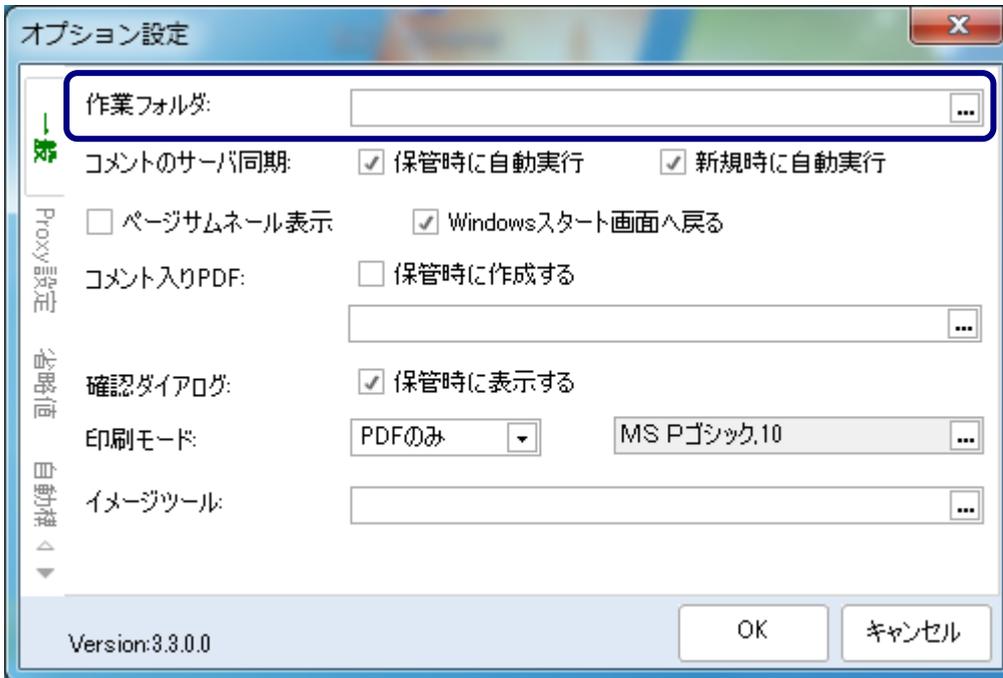


- (9) スタートメニューより、iStudy Viewer を起動してください。(デスクトップへのアイコンは作成されない場合がございます)  
この際、easy UI は選択されないよう、ご注意ください。



## 起動、ログイン、コース選択の流れ:

- (1) iStudy Viewer の初回起動時は、以下のような設定画面が最初に登場します。全ての内容は後からでも変更可能ですが、作業フォルダ(PDF フォルダと表示されているバージョンもあります)のみ、必ず設定する必要があります。



「作業フォルダ」には、Oracle 社より提供されるお客様用の eKitPDF を格納するフォルダを指定してください。  
また、プロキシを利用の場合は「Proxy 設定」タブをクリックして設定を行ってください。

- ※ 事前にOracle社から eKitPDF をダウンロードしてください。
- ※ eKitPDF は、Complete Course (全ての章が掲載された PDF)と Lessons (章ごとに分割されている PDF)の 2 タイプありますが、Complete Course をダウンロードしてください。

- (2) ログイン画面が表示されます。ご登録いただいた iStudy アカウントの ID (メールアドレス)・パスワードをご入力ください。マルチカンパニーをご登録の場合は、受講時にお選びいただいた所属を選択してください。



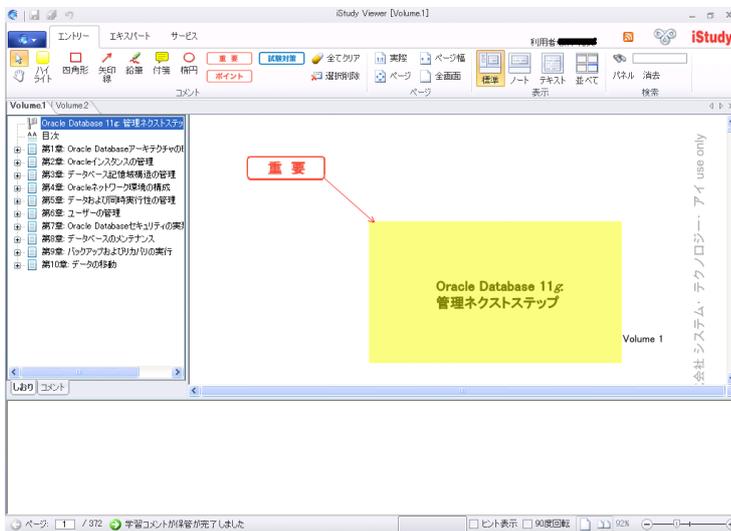
- (3) サーバーに接続され、記録されている学習メモの一覧が表示されます。復習するコースをダブルクリックでお選びください。登録コース数によっては、以下の画面表示に多少の時間がかかるケースがありますのでご了承ください。

コースID	コース名	更新日時	作成者名
S50320	Oracle Database 11g 管理 ネクストステップ【eKit】	2010/04/15 15:48:38	桜井 裕美

- ※ お客様用の eKitPDF が「作業フォルダ」存在しない場合や、リネームされている場合、以下の様なダイアログが表示されます。任意の eKitPDF を選択する場合は、「はい」をクリックし、PDF ファイルを選択してください。



- (4) 弊社サーバーに保存してある学習メモが呼びだされ、自動的に開かれます。内容を更新しサーバーに保存する事で、弊社サーバーに再度、コメントが保存されます。この仕組みにより、別の PC にインストールした iStudy Viewer からでも、同じメモを再現できます。



- ※ PDF は、お客様の名前とメールアドレスが透かしとして入った状態で表示されます。

以上で、研修日程終了後も、登録されたコースの学習を継続、内容の再確認を行っていただくことが可能です。

ご自宅・ご勤務先では、eKitと学習メモ(XML)を重ねたものを印刷することも可能です。

## 組織ネットワーク等の制限で、iStudy Viewer のログイン等ができない場合：

iStudy Viewer は、Proxy 設定が可能となっておりますので、お試しください。尚、設定値等については、組織のネットワーク管理者にお訊ねください。

iStudy Viewer 起動で、ログインを[キャンセル] → [ファイル] → [オプション] → [Proxy 設定]タブ



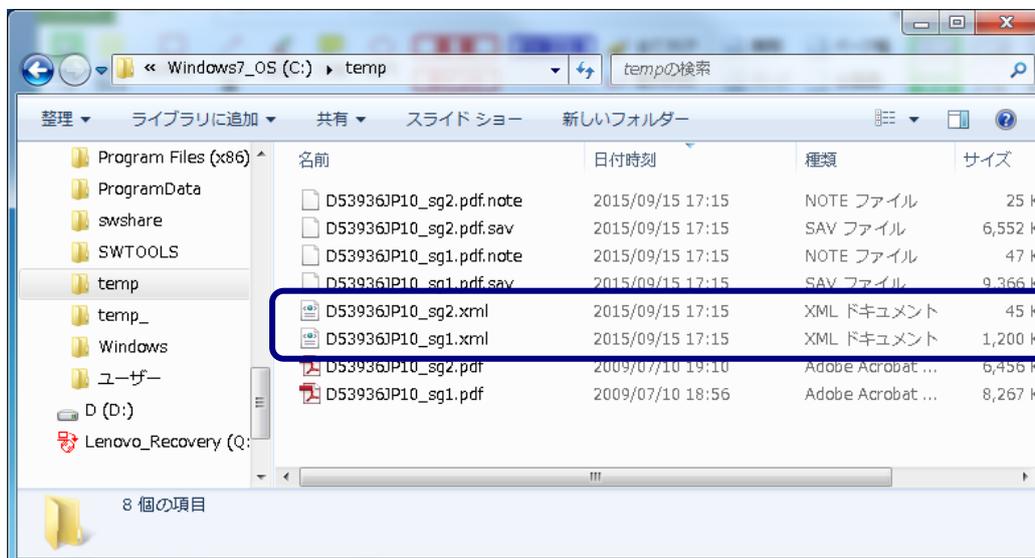
設定の後、iStudy Viewer を一旦終了し、再度 起動してログインを試みてください。

## Proxy 設定を登録しても弊社弊社サーバーに接続できない場合：

組織のネットワーク制限のあり方によっては、Proxy 設定を登録しても解決できない場合がございます。

この場合は、ご家庭などネットワーク制限がクリアされている環境から、コメント XML ファイルを入手することで、制限下にある PC でも、コメントの再現が可能となります。

- (1) ご家庭などネットワーク制限がクリアされている環境から、iStudy Viewer を起動の上、ログインし、コースを選択してください。
- (2) コースが選択されると、「作業フォルダ」にいくつかのファイルが生成されます。このうち、「テキスト名.xml」を、コメントを再現したいPCに、USB メモリやオンラインストレージ等を使ってコピーしてください。



(3) ネットワーク制限下にある PC の「作業フォルダ」に、XML ファイルをコピーします。eKitPDF ファイルも同様にご準備ください。

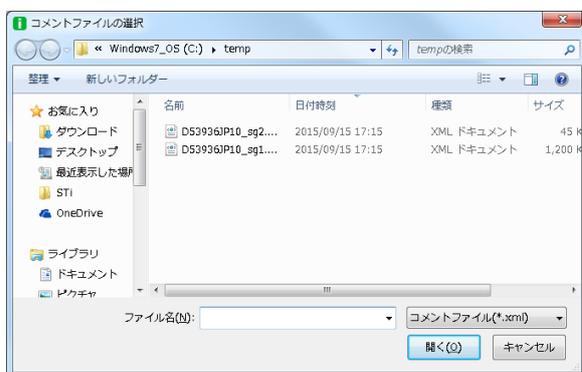
(4) iStudy Viewer を起動します。ログイン画面では、「この起動ではサーバは使用しない」にチェックを入れ、[キャンセル]とします。



(5) [ファイル] → [開く] とします。



(6) 「コメントファイルの選択」ダイアログが表示されます。XML ファイルを選んで[開く]としてください。2 つ以上のテキストとコメントを開きたい場合は、再度[開く]の作業を繰り返してください。



※ 上記の手順で再現されたコメントに、なんらかのコメントを追記した場合は、その PC の XML ファイルのみが更新されます。ご自宅の PC などログインした状態の iStudy Viewer とのコメント同期は取られない事になります。

また、コメント保存時に、再度ログインを求められるケースがありますが、キャンセルとし、再度[保存]ボタンを押してください。

## 既知の不具合・仕様上の制限:

- PDF によっては、使用フォント等の影響で正常に表示されない箇所が出るケースがある
  - アーカイブページより過去バージョン(3.2.0 が、比較的安定して表示されます)をダウンロードの上、お試しください。
- PDF 上に書く「フリーテキスト」が、範囲内で改行されない
  - 記述時は自動改行されていますが、再読込時には改行されず表示されます。適宜改行を入れて記述してください。
- [Volume.3] [Volume.1] [Volume.2] といった順番で PDF が表示されてしまう
  - 教室外では、PDF ファイル名の昇順でタブが並ぶ仕様です。
- コメントの検索を行いたい
  - [ファイル]→[レポート]→[コメント]とすると、その操作した時にアクティブになっている PDF のコメントが、別タブとなり一覧化されます。レポートタブで Ctrl+F とすると、検索ダイアログが登場します。  
尚、PDF 本文の検索は、Acrobat Reader で PDF を開いて検索していただく事を推奨しております。

### お問合せ先

<http://www.istudy.ne.jp/common/inquire.html>

2016 年 7 月  
アイスタディ 株式会社